


# 大腸がん

CAPOX(カペシタビン／オキサリプラチン)

+ベバシズマブ療法

			Day	1	8	15	21
ベバシズマブ	7.5mg/kg 点滴静注	90→60→30分		●			
オキサリプラチン	130mg/m <sup>2</sup> 点滴静注	2時間		●			
カペシタビン錠	1回1000mg/m <sup>2</sup> 内服	1日2回		 14日間			

21日ごとにくりかえす

制吐療法などの前投薬

5-HT3受容体拮抗剤、デキサメタゾン

投与基準

好中球数	1500/mm <sup>3</sup> 以上
血小板	7,500/mm <sup>3</sup> 以上

副作用による減量基準

〈カペシタビン〉

治療期間中の処置

Grade1	減量不要
Grade2	初回発現 Grade0～1に軽快するまで休薬
	2回目発現 Grade0～1に軽快するまで休薬
	3回目発現 Grade0～1に軽快するまで休薬
	4回目発現 投与中止
Grade3	初回発現 Grade0～1に軽快するまで休薬
	2回目発現 Grade0～1に軽快するまで休薬
	3回目発現 投与中止
Grade4	初回発現 投与中止あるいはGrade0～1に軽快するまで投与中

治療再開時の投与量	Grade1	減量不要
	Grade2	初回発現 減量不要 2回目発現 1段階減量 3回目発現 2段階減量 4回目発現 再投与不可
	Grade3	初回発現 1段階減量 2回目発現 2段階減量 3回目発現 再投与不可
	Grade4	初回発現 再投与不可、あるいは2段階減量

〈減量時の投与量〉

体表面積	1.41m <sup>2</sup> 未満	1.41m <sup>2</sup> 以上1.51m <sup>2</sup> 未満	1.51m <sup>2</sup> 以上1.81m <sup>2</sup> 未満	1.81m <sup>2</sup> 以上2
1段階減量	900mg	1,200mg	1200mg	1,500
2段階減量	600mg	600mg	900mg	900r

〈オキサリプラチン〉

種類	最悪時の程度	次回投与量
前回投与後に発現した有害事象	Grade3以上	1回目発現時:100mg/m <sup>2</sup> に減量
		2回目発現時:85mg/m <sup>2</sup> に減量

肝機能による減量基準

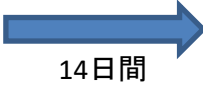
-

腎機能による減量基準

ゼロータ

CLcr(mL/min)      30~50              75%量

# CAPOX(カペシタビン錠／オキサリプラチン)

		Day	1	8	15	21
オキサリプラチン	130mg/m <sup>2</sup> 点滴静注 2時間		●			
カペシタビン錠	1回1000mg/m <sup>2</sup> 内服 1日2回					

21日ごとにくりかえす

・補助療法可  
制吐療法などの前投薬 5-HT3受容体拮抗剤、デキサメタゾン

投与基準	好中球数	1500/mm <sup>3</sup> 以上
	血小板	7,500/mm <sup>3</sup> 以上

副作用による減量基準  
〈カペシタビン〉

治療期間中の処置	Grade1	減量不要
Grade2	初回発現	Grade0~1に軽快するまで休薬
	2回目発現	Grade0~1に軽快するまで休薬
	3回目発現	Grade0~1に軽快するまで休薬
	4回目発現	投与中止
Grade3	初回発現	Grade0~1に軽快するまで休薬
	2回目発現	Grade0~1に軽快するまで休薬
	3回目発現	投与中止
Grade4	初回発現	投与中止あるいはGrade0~1に軽快するまで投与中

治療再開時の投与量	Grade1	減量不要
Grade2	初回発現	減量不要
	2回目発現	1段階減量
	3回目発現	2段階減量
	4回目発現	再投与不可
Grade3	初回発現	1段階減量
	2回目発現	2段階減量
	3回目発現	再投与不可
Grade4	初回発現	再投与不可、あるいは2段階減量

〈減量時の投与量〉

体表面積	1.41m <sup>2</sup> 未満	1.41m <sup>2</sup> 以上1.51m <sup>2</sup> 未満	1.51m <sup>2</sup> 以上1.81m <sup>2</sup> 未満	1.81m <sup>2</sup> 以上2
1段階減量	900mg	1,200mg	1200mg	1,500
2段階減量	600mg	600mg	900mg	900r

〈オキサリプラチン〉

種類	最悪時の程度	次回投与量
前回投与後に発現した有害事象	Grade3以上	1回目発現時:100mg/m <sup>2</sup> に減量
		2回目発現時:85mg/m <sup>2</sup> に減量

肝機能による減量基準


-

腎機能による減量基準

カペシタビン錠  
CLcr (mL/min) 30~50 75%量



# mFOLFOX6 (フルオロウラシル / オキサリプラチン) + ベバシズマブ

			Day	1	2	..	14
オキサリプラチン	85mg/m <sup>2</sup> 点滴静注	2時間		●			
レボホリナート	200mg/m <sup>2</sup> 点滴静注	2時間		●			
フルオロウラシル	400mg/m <sup>2</sup> 急速静注	5分		●			
フルオロウラシル	2,400mg /m <sup>2</sup> 持続静注	46時間					
				46時間			

14日ごとにくりかえす

・補助療法可

制吐療法などの前投薬

5-HT3受容体拮抗剤、デキサメタゾン

投与基準

好中球数	1500/mm <sup>3</sup> 以上
血小板	7,500/mm <sup>3</sup> 以上


減量基準

	最悪時の程度	次回投与量
好中球数	500/mm <sup>3</sup> 未満	オキサリプラチンを65mg/m <sup>2</sup>
血小板数	50,000/mm <sup>3</sup> 未満	に減量、フルオロウラシルを
消化器系の副作用	Grade3以上	20%減量(急速、持続ともに)

フルオロウラシル

T-Bil > 5.0mg/dLの場合投与中止

# mFOLFOX6 (フルオロウラシル / オキサリプラチン)

			Day	1	2	..	14
ベバシズマブ	5mg/kg 点滴静注	30分		●			
オキサリプラチン	85mg/m <sup>2</sup> 点滴静注	2時間		●			
レボホリナート	200mg/m <sup>2</sup> 点滴静注	2時間		●			
フルオロウラシル	400mg/m <sup>2</sup> 急速静注	5分		●			
フルオロウラシル	2,400mg /m <sup>2</sup> 持続静注	46時間					
							46時間
14日ごとにくりかえす							

制吐療法などの前投薬

5-HT3受容体拮抗剤、デキサメタゾン

投与基準

好中球数	1500/mm <sup>3</sup> 以上
血小板	7,500/mm <sup>3</sup> 以上

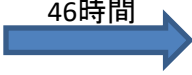
減量基準

	最悪時の程度	次回投与量
好中球数	500/mm <sup>3</sup> 未満	オキサリプラチンを65mg/m <sup>2</sup>
血小板数	50,000/mm <sup>3</sup> 未満	に減量、フルオロウラシルを
消化器系の副作用	Grade3以上	20%減量(急速、持続ともに)

フルオロウラシル

T-Bil > 5.0mg/dLの場合投与中止

# sLV5FU2(フルオロウラシル)+ベバシズマブ

			Day	1	2	..	14
ベバシズマブ	5mg/kg 点滴静注	90→60→30分		●			
レボホリナート	200mg/m <sup>2</sup> 点滴静注	2時間		●			
フルオロウラシル	400mg/m <sup>2</sup> 急速静注	5分		●			
フルオロウラシル	2,400mg /m <sup>2</sup> 持続静注	46時間		46時間 			

14日ごとにくりかえす

制吐療法などの前投薬                      デキサメタゾン


投与基準	好中球数	1500/mm <sup>3</sup> 以上
	血小板	7,500/mm <sup>3</sup> 以上

## 減量基準

	最悪時の程度	次回投与量
好中球数	500/mm <sup>3</sup> 未満	フルオロウラシルを20%減量 (急速、持続ともに)
血小板数	50,000/mm <sup>3</sup> 未満	
消化器系の副作用	Grade3以上	

フルオロウラシル                      T-Bil>5.0mg/dLの場合投与中止

# sLV5FU2(フルオロウラシル)

			Day	1	2	..	14
レボホリナート	200mg/m <sup>2</sup> 点滴静注	2時間		●			
フルオロウラシル	400mg/m <sup>2</sup> 急速静注	5分		●			
フルオロウラシル	2,400mg /m <sup>2</sup> 持続静注	46時間					

14日ごとにくりかえす

制吐療法などの前投薬

デキサメタゾン

投与基準

好中球数	1500/mm <sup>3</sup> 以上
血小板	7,500/mm <sup>3</sup> 以上

減量基準

	最悪時の程度	次回投与量
好中球数	500/mm <sup>3</sup> 未満	フルオロウラシルを20%減量 (急速、持続ともに)
血小板数	50,000/mm <sup>3</sup> 未満	
消化器系の副作用	Grade3以上	

フルオロウラシル

T-Bil>5.0mg/dLの場合投与中止



# パニツムマブ単独療法

		Day	1	...	14
パニツムマブ	6mg/kg 点滴静注	60分(問題なければ30分)	●		

14日ごとにくりかえす

RAS遺伝子野生型の治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌

制吐療法などの前投薬

投与基準

好中球数	1500/mm <sup>3</sup> 以上
血小板	7,500/mm <sup>3</sup> 以上

減量基準

Grade3以上の皮膚障害発現時の用量調節の目安

皮膚障害時の投与量	本剤の投与	投与再開の基準	用量調節
6mg/kg	投与延期	6週間以内にGrade2以下に回復	6mg/kgまたは4.8mg/kg
4.8mg/kg	投与延期	6週間以内にGrade3以下に回復	3.6mg/kg
3.6mg/kg	中止		

# セツキシマブ単独療法

			Day	1	...	7
セツキシマブ	初回 点滴静注	400mg/m <sup>2</sup> 120分		●		
	2回目以降 点滴静注	250mg/m <sup>2</sup> 60分				

14日ごとにくりかえす


※投与速度は10mg/分以下  
RAS遺伝子野生型の治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌

制吐療法などの前投薬  
デキサメタゾン、d-クロルフェニラミン注

## 〈減量基準〉 Grade3以上の皮膚障害発現時の用量調節の目安

Grade3以上の皮膚 症状の発現回数	本剤の投与	投与再開の基準	用量調節
初回	投与延期	Grade2以下に回復	250mg/m <sup>2</sup> で投与継続
		回復せず	投与中止
2回目の発現時	投与延期	Grade2以下に回復	200mg/m <sup>2</sup> で投与継続
		回復せず	投与中止
3回目の発現時	投与延期	Grade2以下に回復	150mg/m <sup>2</sup> で投与継続
		回復せず	投与中止
4回目の発現時	投与中止	-	-

## FOLFIRI(フルオロウラシル／イリノテカン)＋ベバシズマブ

			Day	1	2	..	14
ベバシズマブ	5mg/kg 点滴静注	90→60→30分		●			
イリノテカン	150mg/m <sup>2</sup> 点滴静注	90分		●			
レボホリナート	200mg/m <sup>2</sup> 点滴静注	2時間		●			
フルオロウラシル	400mg/m <sup>2</sup> 急速静注	5分		●			
フルオロウラシル	2,400mg /m <sup>2</sup> 持続静注	46時間		 46時間			

14日ごとにくりかえす

制吐療法などの前投薬                      5-HT3受容体拮抗剤、デキサメタゾン


投与基準	好中球数	1500/mm <sup>3</sup> 以上
	血小板	7,500/mm <sup>3</sup> 以上

減量基準		
	最悪時の程度	次回投与量
好中球数	500/mm <sup>3</sup> 未満	フルオロウラシルを20%減量 (急速、持続ともに)
血小板数	50,000/mm <sup>3</sup> 未満	
消化器系の副作用	Grade3以上	

フルオロウラシル                      T-Bil>5.0mg/dLの場合投与中止

イリノテカン                      WBCが3,000/mm<sup>3</sup>未満または血小板数が100,000/mm<sup>3</sup>未満の場合には投与を中止す

## FOLFIRI(フルオロウラシル／イリノテカン)＋アフリベルセプト

			Day	1	2	..	14
アフリベルセプト	4mg/kg 点滴静注	60分		●			
イリノテカン	150mg/m <sup>2</sup> 点滴静注	90分		●			
レボホリナート	200mg/m <sup>2</sup> 点滴静注	120分		●			
フルオロウラシル	400mg/m <sup>2</sup> 急速静注	5分		●			
フルオロウラシル	2,400mg /m <sup>2</sup> 持続静注	46時間		 46時間			

14日ごとにくりかえす

制吐療法などの前投薬                      5-HT3受容体拮抗剤、デキサメタゾン

投与基準

好中球数	1500/mm <sup>3</sup> 以上
血小板	7,500/mm <sup>3</sup> 以上

減量基準

	最悪時の程度	次回投与量
好中球数	500/mm <sup>3</sup> 未満	フルオロウラシルを20%減量 (急速、持続ともに)
血小板数	50,000/mm <sup>3</sup> 未満	
消化器系の副作用	Grade3以上	

フルオロウラシル

T-Bil>5.0mg/dLの場合投与中止


イリノテカン

WBCが3,000/mm<sup>3</sup>未満または血小板数が100,000/mm<sup>3</sup>未満の場合には投与を中止する

好中球減少: 1,500/mm<sup>3</sup>以上に回復するまで休薬する

血小板減少: 75,000/mm<sup>3</sup>以上に回復するまで休薬する

# FOLFIRI(フルオロウラシル／イリノテカン)＋ラムシルマブ

			Day	1	2	..	14
ラムシルマブ	8mg/kg 点滴静注	60分		●			
イリノテカン	150mg/m <sup>2</sup> 点滴静注	90分		●			
レボホリナート	200mg/m <sup>2</sup> 点滴静注	120分		●			
フルオロウラシル	400mg/m <sup>2</sup> 急速静注	5分		●			
フルオロウラシル	2,400mg /m <sup>2</sup> 持続静注	46時間					
				46時間			

14日ごとにくりかえす

制吐療法などの前投薬 5-HT<sub>3</sub>受容体拮抗剤、デキサメタゾン

投与基準

好中球数	1500/mm <sup>3</sup> 以上
血小板	7,500/mm <sup>3</sup> 以上

減量基準


	最悪時の程度	次回投与量
好中球数	500/mm <sup>3</sup> 未満	フルオロウラシルを20%減量 (急速、持続ともに)
血小板数	50,000/mm <sup>3</sup> 未満	
消化器系の副作用	Grade3以上	

フルオロウラシル T-Bil>5.0mg/dLの場合投与中止

イリノテカン WBCが3,000/mm<sup>3</sup>未満または血小板数が100,000/mm<sup>3</sup>未満の場合には投与を中止す

好中球減少: 1,500/mm<sup>3</sup>以上に回復するまで休薬する  
血小板減少: 75,000/mm<sup>3</sup>以上に回復するまで休薬する

# FOLFIRI(フルオロウラシル／イリノテカン)

			Day	1	2	..	14
イリノテカン	150mg/m <sup>2</sup> 点滴静注	90分		●			
レボホリナート	200mg/m <sup>2</sup> 点滴静注	2時間		●			
フルオロウラシル	400mg/m <sup>2</sup> 急速静注	5分		●			
フルオロウラシル	2,400mg /m <sup>2</sup> 持続静注	46時間		 46時間			

14日ごとにくりかえす

制吐療法などの前投薬

5-HT<sub>3</sub>受容体拮抗剤、デキサメタゾン

投与基準

好中球数	1500/mm <sup>3</sup> 以上
血小板	7,500/mm <sup>3</sup> 以上

減量基準

	最悪時の程度	次回投与量
好中球数	500/mm <sup>3</sup> 未滿	フルオロウラシルを20%減量 (急速、持続ともに)
血小板数	50,000/mm <sup>3</sup> 未滿	
消化器系の副作用	Grade3以上	

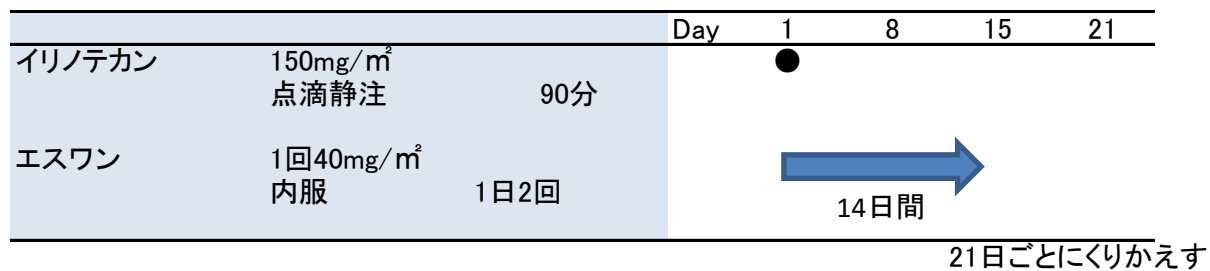
フルオロウラシル

T-Bil>5.0mg/dLの場合投与中止

イリノテカン

WBCが3,000/mm<sup>3</sup>未滿または血小板数が100,000/mm<sup>3</sup>未滿の場合には投与を中止す

# SIR(エスワン／イリノテカン)



制吐療法などの前投薬

5-HT<sub>3</sub>受容体拮抗剤、デキサメタゾン


投与基準

好中球数	3,000/mm <sup>3</sup> 以上
血小板	100,000/mm <sup>3</sup> 以上

〈S-1:腎障害時の投与量変更〉

Ccr(mL/min)	80以上	初回基準量
	60以上80未満	初回基準量(必要に応じて1段階減量)
	30以上60未満	原則として1段階以上の減量(30~40未満は2段階減)
	30未満	投与不可

# カペシタビン錠±ベバシズマブ

			Day	1	8	15	21
ベバシズマブ	7.5mg/kg 点滴静注	90→60→30分		●			
カペシタビン錠	1回1250mg/m <sup>2</sup> 内服	1日2回					

21日ごとにくりかえす

制吐療法などの前投薬

投与基準 -

副作用による減量基準

治療期間中の処置	Grade1	減量不要
Grade2	初回発現	Grade0～1に軽快するまで休薬
	2回目発現	Grade0～1に軽快するまで休薬
	3回目発現	Grade0～1に軽快するまで休薬
	4回目発現	投与中止
Grade3	初回発現	Grade0～1に軽快するまで休薬
	2回目発現	Grade0～1に軽快するまで休薬
	3回目発現	投与中止
Grade4	初回発現	投与中止あるいはGrade0～1に軽快するまで投与中

治療再開時の投与量	Grade1	減量不要
Grade2	初回発現	減量不要
	2回目発現	1段階減量
	3回目発現	2段階減量
	4回目発現	再投与不可
Grade3	初回発現	1段階減量
	2回目発現	2段階減量
	3回目発現	再投与不可
Grade4	初回発現	再投与不可、あるいは2段階減量

〈カペシタビン〉

〈減量時の投与量〉

体表面積	1.41m <sup>2</sup> 未満	1.41m <sup>2</sup> 以上1.51m <sup>2</sup> 未満	1.51m <sup>2</sup> 以上1.81m <sup>2</sup> 未満	1.81m <sup>2</sup> 以上2
1段階減量	900mg	1,200mg	1200mg	1,500
2段階減量	600mg	600mg	900mg	900r

肝機能による減量基準

-

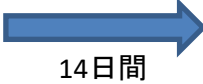
腎機能による減量基準

ゼロータ

CLcr (mL/min)      30～50              75%量



# ベバシズマブ+エスワン

			Day	1	8	15	21
アバスチン	7.5mg/m <sup>2</sup> 点滴静注	90分		●			
エスワン	1回40mg/m <sup>2</sup> 内服	1日2回					

21日ごとにくりかえす

制吐療法などの前投薬                      5-HT3受容体拮抗剤、デキサメタゾン

投与基準                                      -

〈S-1: 腎障害時の投与量変更〉

Ccr(mL/min)

80以上

初回基準量

60以上80未満

初回基準量(必要に応じて1段階減量)

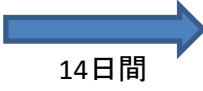
30以上60未満

原則として1段階以上の減量(30~40未満は2段階減

30未満

投与不可

# SOX(エスワン／オキサリプラチン)

			Day	1	8	15	21
オキサリプラチン	130mg/m <sup>2</sup> 点滴静注	120分		●			
エスワン	1回 40mg/m <sup>2</sup> 内服	1日2回					

21日ごとにくりかえす

・補助療法可  
制吐療法などの前投薬                      5-HT3受容体拮抗剤、デキサメタゾン

## 投与基準

	休薬基準
好中球数	<1,000/mm <sup>3</sup>
血小板	<50,000/mm <sup>3</sup>
AST・ALT	>ULN × 2.5
血清クレアチニン	>ULN × 1.2
下痢、粘膜炎、口内炎、手足症候群	≥ Grade2

## 〈減量時の投与量〉

	L-OHP	S-1		
		BSA < 1.25m <sup>2</sup>	1.25m <sup>2</sup> ≤ BSA < 1.5m <sup>2</sup>	BSA ≥
体表面積				
1段階減量	75mg/m <sup>2</sup>	25mg/回	40mg/回	50mg
2段階減量	50mg/m <sup>2</sup>	20mg/回	25mg/回	40mg

## 肝機能による減量基準

-

## 〈S-1:腎障害時の投与量変更〉

Ccr(mL/min)

80以上

60以上80未満

30以上60未満

30未満

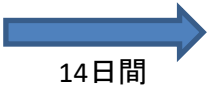
初回基準量

初回基準量(必要に応じて1段階減量)

原則として1段階以上の減量(30~40未満は2段階減

投与不可)

# SOX(エスワン／オキサリプラチン)＋ベバシズマブ

			Day	1	8	15	21
アバスチン	7.5mg/m <sup>2</sup> 点滴静注	90分		●			
オキサリプラチン	130mg/m <sup>2</sup> 点滴静注	120分		●			
エスワン	1回 40mg/m <sup>2</sup> 内服	1日2回					

21日ごとにくりかえす

制吐療法などの前投薬

5-HT<sub>3</sub>受容体拮抗剤、デキサメタゾン

投与基準

	休薬基準
好中球数	< 1,000/mm <sup>3</sup>
血小板	< 50,000/mm <sup>3</sup>
AST・ALT	> ULN × 2.5
血清クレアチニン	> ULN × 1.2
下痢、粘膜炎、口内炎、手足症候群	≥ Grade2

〈減量時の投与量〉


体表面積	L-OHP	S-1		
		BSA < 1.25m <sup>2</sup>	1.25m <sup>2</sup> ≤ BSA < 1.5m <sup>2</sup>	BSA ≥ 1.5m <sup>2</sup>
1段階減量	75mg/m <sup>2</sup>	25mg/回	40mg/回	50mg/回
2段階減量	50mg/m <sup>2</sup>	20mg/回	25mg/回	40mg/回

肝機能による減量基準

〈S-1: 腎障害時の投与量変更〉

Ccr(mL/min)	80以上	初回基準量
60以上80未満	初回基準量(必要に応じて1段階減量)	
30以上60未満	原則として1段階以上の減量(30~40未満は2段階減量)	
30未満	投与不可	

# mFOLFOX6 (フルオロウラシル / オキサリプラチン) + セツキシマブ療法

		Day	1	2	..	14
セツキシマブ	初回: 400mg/m <sup>2</sup> 2回目以降 250mg/m <sup>2</sup> 点滴静注		●			
オキサリプラチン	85mg/m <sup>2</sup> 点滴静注		●			
レボホリナート	200mg/m <sup>2</sup> 点滴静注		●			
フルオロウラシル	400mg/m <sup>2</sup> 急速静注		●			
フルオロウラシル	2,400mg / m <sup>2</sup> 持続静注					

14日ごとにくりかえす

制吐療法などの前投薬                      5-HT<sub>3</sub>受容体拮抗剤、デキサメタゾン、d-クロルフェニミン注

投与基準	好中球数	1500/mm <sup>3</sup> 以上
	血小板	7,500/mm <sup>3</sup> 以上



減量基準	最悪時の程度	次回投与量
好中球数	500/mm <sup>3</sup> 未滿	オキサリプラチンを65mg/m <sup>2</sup> に減量、フルオロウラシルを20%減量(急速、持続ともに)
血小板数	50,000/mm <sup>3</sup> 未滿	
消化器系の副作用	Grade3以上	

フルオロウラシル                      T-Bil > 5.0mg/dLの場合投与中止

セツキシマブ                      Grade3以上の皮膚障害発現時の用量調節の目安

Grade3以上の皮膚症状の発現回数	本剤の投与	投与再開の基準	用量調節
初回	投与延期	Grade2以下に回復	250mg/m <sup>2</sup> で投与継続
		回復せず	投与中止
2回目の発現時	投与延期	Grade2以下に回復	200mg/m <sup>2</sup> で投与継続
		回復せず	投与中止
3回目の発現時	投与延期	Grade2以下に回復	150mg/m <sup>2</sup> で投与継続
		回復せず	投与中止
4回目の発現時	投与中止	-	-

# ベバシズマブ+トリフルリジン・チピラシル配合錠

			Day	1	5	8	12	15
ベバシズマブ	5mg/m <sup>2</sup> 点滴静注	90分		●				●
ロンサーフ	1回35mg/m <sup>2</sup> 内服	1日2回		 2日休薬 5日間内服		 2日休薬 5日間内服		14日間
28日ごとにくりかえす								

制吐療法などの前投薬

5-HT3受容体拮抗剤、デキサメタゾン

投与基準

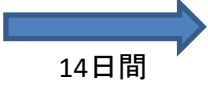
	投与開始・再開基準	休薬基準
血色素量	8.0g/dL以上	7.0g/dL未満
好中球数	1,500/mm <sup>3</sup> 以上	1,000/mm <sup>3</sup> 未満
血小板数	75,000/mm <sup>3</sup> 以上	50,000/mm <sup>3</sup> 未満
総ビリルビン	1.5mg/dL以下	2.0mg/dLを超える
AST,ALT	N×2.5(肝転移症例では×5)以下	N×2.5(肝転移症例では×5)以下
クレアチニン	1.5mg/dL以下	1.5mg/dLを超える
末梢神経障害	Grade2以下	Grade3以上
非血液毒性 (脱毛、味覚異常、 色素沈着、原疾患 に伴う症状は除く)	Grade1以下	Grade3以上

ロンサーフ減量基準

好中球数	500/mm <sup>3</sup> 未満
血小板数	50,000/mm <sup>3</sup> 未満

※減量は10mg/日単位で減量する

# CAPIRI(カペシタビン/イリノテカン)±ベバシズマブ

			Day	1	8	15	21
ベバシズマブ	7.5mg/kg 点滴静注	90→60→30分		●			
イリノテカン	125mg/m <sup>2</sup> 点滴静注	90分		●			
カペシタビン錠	1回800mg/m <sup>2</sup> 内服	1日2回					

21日ごとにくりかえす

制吐療法などの前投薬                      グラニセトロン、デキサメタゾン

投与基準                      -

## 副作用による減量基準

治療期間中の処置	Grade1	減量不要
	Grade2	初回発現 Grade0~1に軽快するまで休薬 2回目発現 Grade0~1に軽快するまで休薬 3回目発現 Grade0~1に軽快するまで休薬 4回目発現 投与中止
	Grade3	初回発現 Grade0~1に軽快するまで休薬 2回目発現 Grade0~1に軽快するまで休薬 3回目発現 投与中止
	Grade4	初回発現 投与中止あるいはGrade0~1に軽快するまで投与中

治療再開時の投与量	Grade1	減量不要
	Grade2	初回発現 減量不要 2回目発現 1段階減量 3回目発現 2段階減量 4回目発現 再投与不可
	Grade3	初回発現 1段階減量 2回目発現 2段階減量 3回目発現 再投与不可
	Grade4	初回発現 再投与不可、あるいは2段階減量

〈カペシタビン〉

## 〈減量時の投与量〉

体表面積	1.26m <sup>2</sup> 未満	1.26m <sup>2</sup> 以上1.76m <sup>2</sup> 未満	1.76m <sup>2</sup> 以上2.07m <sup>2</sup> 未満	2.07m <sup>2</sup> 以上2
1段階減量	600mg	900mg	1200mg	1200
2段階減量	600mg	600mg	600mg	900r

肝機能による減量基準

-

腎機能による減量基準

カペシタビン

CLcr (mL/min)	30未満	投与禁忌
	30~50	75%量

断

1.11m <sup>2</sup> 未満	2.11m <sup>2</sup> 以上
mg	1,500mg
ng	1,200mg



断

2.11㎡未満	2.11㎡以上
1mg	1,500mg
ng	1,200mg











kg

8



吉元
吉元
吉元



または延期

または延期

または延期

または延期

量が望ましい)

断

2.11㎡未満	2.11㎡以上
1mg	1,500mg
ng	1,200mg

量が望ましい)

1.5m <sup>2</sup>
/回
/回

量が望ましい)



1.5m <sup>2</sup>
/回
/回

量が望ましい)

売
売
売

罰休藥

---

断

2.26m <sup>2</sup> 未満	2.26m <sup>2</sup> 以上
mg	1,500mg
ng	900mg